

## トピックス

## ① オートバイ

東南アジアは、オートバイが街に溢れているというイメージがあります。しかし、シンガポールではスクーターや小型オートバイはあまり見かけません。高級なフルカウルの大型スポーツバイクに、かっこよく乗っている姿を時々見るくらいです。これは、オートバイを買うときに輸入費用や関税がかかる上に、所有し運転する権利としてCOE（ナンバー取得権）がかかるためだと思います。自動車の約500万円に比べたら安いですが、それでもオートバイも50万円前後もします。つまり、日本では新車価格で70万円くらいの400ccスポーツバイクが200万円近くすることになります。特に最近人気を集めているのはヨーロッパメーカーの高級オートバイで、ドイツのBMWの新規登録台数は2014年に466台、イタリアのドゥカティも177台と着実に伸びているそうです。ちなみに、2016年のシンガポール国内オートバイ販売台数は8336台でした。同じ年の統計によると、バイクで有名なベトナムでは何と2963000台、インドネシアでは6215350台も販売されたそうです。

## ② 犯罪

シンガポールは、日本よりも治安がいいとさえ言われます。しかし人通りの多いデパートやショッピングセンター、動物園等の観光地、酒場等の飲食店で日本人観光客や在留邦人を狙ったスリや置き引き被害が発生しています。多くは、複数の外国人グループによる犯行です。手口として代表的なものは、2人が被害者を前後から挟み、前者がコインやハンカチ等を被害者の目の前で落として注意をそらせ、その隙に後者が金品等をスリ取ってしまうものです。その後、第3、第4の共犯者に金品等がリレーされて全員がバラバラに逃走し、追跡を困難にするのです。他には、背中にクリーム状のものをわざとかけ、親切を装い拭き取るふりをして金品等をスリ取るものや、被害者が買い物中に、背後からハンドバッグをカミソリ等で切り取り、中身を抜き取ってしまうなどです。予防策としては、多額の現金、貴重品は持ち歩かない。ズボンの後ろポケットなど、外から見えるところに財布を入れない、ウエストポーチやポシェットなどは、自分の前に抱えて持つ、レジなどでの支払い時には、財布の中を他人に見られないようにする、前後に気を配り、後をつけてくる不審な人には注意を払う、ATM（現金自動預払機）から出た直後は特にひたたくりに気を付けるなどです。私の周囲では、 아이폰などの携帯電話を盗まれた人が何人かいます。



The REAL deepest SINGAPORE “GEYLANG”

ゲイランエリアでは、ラマダン期間にバザールが始まります。きらびやかなイメージのシンガポールとはかけ離れた趣のあるゲイランエリアは、大阪の新世界を思い出します。いかにも東南アジアというローカル色たっぷりのキラキラパワースポットです。

マレー屋根の店がずらり



ローカルの人々が集う憩いの場



きらめく道路



衣装はこれです



Paya Lebar を境に東へ行くと、Paya Lebar～Eunos 間はマレー系地域です。イスラム学校の祈りの声が朝から聞こえます。昼間は、地面に座る女性たちがいたるところで見られます。夜は道路が色づき、テントやマーケットの周りに人が集まります。ここは交渉次第でディスカウントできます。逆に西方向へ行くと、Paya Lebar～Kallang 間には長いゲイラン通りがあります。日々発展していくシティーエリアと対照的に、都市再開発がなされていません。昔ながらの歓楽街、安宿街、安くて美味しい不衛生な食堂街、外国人労働者居住地区などが集まっています。政府観光局が注力するゴミひとつ落ちていない都心部とはまったく違った、合法、非合法の店が並んだ東南アジアらしい風情を味わえる街といえます。文化は中華とマレーが融合です。Geylang の語源はマレー語で工場という意味の Kilang だとか。ここは、道路が整備されていなくて、車が荒くて、信号無視あるので、ご注意ください。

ローカルスイーツ店がいっぱい。  
◎スイーツ店ですら営業時間は真夜中～朝方。



蛙のお粥の有名店がいっぱい。  
◎同じエリアなら、別の店の食べ物の持ち込み可。



フルーツの王様ドリアン専門店いっぱい。  
◎6月頃が旬。店の前は、バスの中まで匂います。



水槽の蛙

# チャイナタウンの魅力を探る！

シンガポールは大きく分けて中華系、インド系、マレー系と様々な民族が共に生活している国です。この多民族国家を象徴する街が「チャイナタウン」であり、ヒンドゥー寺院やイスラム教のモスク、中国寺院、そしてキリスト教会と、代表的な四つの宗教施設が共存しています。

6月初旬、そのチャイナタウンをチャンギ校の先生方みんなで訪れ、代表的な寺院「新嘉坡佛牙寺」と「スリ・マリアマン寺院」を見学しました。今回は、この二つの寺院の魅力を紹介します。

ぶつきょう 仏教

しんがほーるぶつがじ  
**新嘉坡佛牙寺**

きょう ヒンドゥー教

じいん  
**スリ・マリアマン寺院**



6200万シンガポールドル（約60億円）かけて建てられ、2007年にオープンしたよ。  
288 South Bridge Rd



1827年に建てられ、ナショナルモニュメント（国定建造物）になっているよ。  
244 South Bridge Rd

仏教は、約2500年前に、ブツダ（仏陀）が提唱したとされています。この仏陀の歯（牙）を納めた黄金の仏舍利があることから、「佛牙寺」と名付けられました。

※ 実際の歯は、1インチ（約2.5cm）程度ですが、モニターで大きく見ることができましたよ！！

なまえ  
ゆらい  
**名前の由来**

ヒンドゥー教は、三つの神様が有名です。その一つ、シヴァ神の妃にパールバディがいます。このパールバディが変身した姿であるマリアマンを本尊としているのが、この寺院です。スリ（聖なる）、マリ（雨）、アマン（女神）の意味で、豊穰の神、病気を治す力があると信じられていました。



1階の龍宝殿には約8mの本尊。熱心に祈りを捧げる人でいっぱいです。

みどころ  
**見所**



有名な「ガネーシャ」もいるよ。実はパールバディの息子です。



屋上になると、世界最大級の「マニ車」が。一回りさせると、経文を一通り読み終えたと同じ功德があるとされています。



広間は、フレスコ画といわれる絵画が描かれた柱や天井で豪華に装飾されているよ。



## シンガポール便り 179

2017年9月20日 三好 隆志

### プラナカン

職員研修で、おばあさんがプラナカンであるオーストラリア人の先生に来てもらってお話を聞きました。また、ワークショップでプリンティングをしました。プラナカンとは、マラッカやシンガポールなどで、中国大陸南東部の湾岸地域から来た中国人が、現地のマレー系女性を妻として娶った家族の子孫のことです。また、国際結婚はしていなくても、マレーなど地域土着の風習に適応し、地域コミュニティへ同化していった中華系集団のことも含みます。その歴史は、500年にも及びそうです。結果として、双方の文化的特徴を混ざり合った形で受け継ぐこととなりました。特にシンガポールにおいてはエリート層を形成しており、母国である中国よりも、むしろイギリスとの結び付きが強いそうです。

その文化とは、まず建築物です。プラナカンの建築物は一階が店舗や事務所、二階が住居になっており、「ショップハウス」と呼ばれます。間口が狭くて奥行きが深い、まるで京都の町屋のような造りです。一戸単独で建つことはなく、数件が隣り合った状態で建てられます。プラナカンの建築の特徴は、明るいパステルカラーです。西洋建築のスタイルが取り込まれ、よろい窓や瀟洒な柱で彩られています。中国やインド的なデザインを盛り込んだものもあり、まさに東西文化を



融合させた住居になっています。

次に、プラナカンの華麗な文化の一つとして、ビーズ刺繍もよく知られています。女性は、花嫁修行の一環としてビーズ刺繍を教え込まれました。刺繍のモチーフは、イギリスの刺繍やクロスステッチの 패턴の影響も強く受けているそうです。東西の文化が融合したプラナカンのビーズ刺繍は、女性たちに人気です。

明るいパステルカラーを好むプラナカンの感覚は、食器にも表れています。「ニョニャ・ウェア」と呼ばれるプラナカンの陶器は、ピンクやペパーミントグリーンやクリームイエローで彩色された、とても華やかなものです。その大半は19世紀に中国の景德鎮で、プラナカン用として製造されたものだそうです。これらは、プラナカン博物館で詳しく見ることができます。

## シンガポール便り 178

2017年9月17日 三好 隆志

### 英語能力

2020年度から小学校高学年で英語が正式教科になります。進むグローバル化に対応し、世界で渡りあえる人材を育成するのが狙いです。現在、外国語活動が週に1時間設定されていて、外国人のネイティブスピーカーと担任の2人によるチームティーチングをすることが多いです。英語教科になると、週に2時間になります。しかし、小学校教員には不安の声も多く、指導力養成が間に合うのか心配です。そして、一番大きな問題は、日本語の軽視につながらないかということです。言語の習得は9~10歳を超えると難しくなると言われています。それは、脳の吸収力が最も盛んな時期である9歳までだとRとLの発音や聞き分けが出来たり、苦手意識や間違いを恥ずかしながらないといったりする有利なことがあるからです。

ところが、幼少の時に英語の習得に多くの時間を過ごしたり、インターナショナル校などの英語環境に浸かっていたりすると、日本語の読み書きや表現力が養われないということが起こります。自分の感情が上手く伝えられなくなってしまうのです。英語と日本語の両方が出来るバイリンガルをめざして、実は両方ともその年齢相応の語学レベルに達しない「セミリンガル」になってしまうのです。言語活用能力は、自己確立や社会とのコミュニケーションの軸であり、それは母語である日本語で達成されるべきものです。

そこで、グローバル人材として求められているものは、単に英語力だけではなく「多様性」「協調性」「チャレンジ精神」「発想力」「表現力」などが大切になるのです。その点、日本人学校の子どもたちは、日常が非日常です。かけがえのない海外生活の中で、異文化への興味関心をもち、柔軟なコミュニケーション能力と経験を生かして活躍してほしいです。

### ローカル校

日本人でシンガポールにいる学齢期の子どもたちは、ほとんどが日本人学校に通っています。シンガポール日本人学校の小学部2校と中学部を合わせて、児童生徒数は現在2400人程度で増加傾向にあります。また、補習校もあって、これはインターナショナル校やローカル校に通っている子どもたちが土曜日の午後に通ってきます。人数は400人くらいです。ローカル校での外国人の割合は、5%くらいです。ローカル校に通わせる魅力は、多民族・多国籍な環境にあります。また、英語や中国語を学べることも魅力です。不利な点は、音楽・図工・体育などの時間が少ないことや、集団行動や礼儀やマナーなどが日本より厳しく言わないことです。



# シンガポール便り 177

2017年9月15日 三好 隆志

## トピックス

### ① 個人所得税

シンガポールの所得税はどのような仕組みでしょうか。日本の場合は、基本的に給与から源泉徴収されます。だから、年末に医療費や生命保険の控除を申請するくらいで、源泉徴収票を受け取れば終わりです。ところが、シンガポールでは自分で申告し納税しなければいけません。さて、所得控除ですが、2万ドルまでは税率が0で税金は納めなくてもいいことになります。また、それ以上の給与は累進税率となっていますが、ぜひ率は日本よりかなり低く、文部科学省派遣ではなく、シンガポール日本人学校が独自に採用している日本人専任教諭の場合、1年間で2000ドルくらいだそうです。

### ② 喫煙

日本でも、喫煙場所は年々なくなっていますが、シンガポールでは基本的に屋根のある室内では全面禁止です。禁煙マークのあるところ、美術館、博物館、病院など公共施設や、レストラン、カフェなどのインドアの席、ホテルロビー、駐車場など室内ではタバコは吸えません。また、ホテルやショッピングセンターなどの屋外でも、入口から5メートル以内は禁煙です。最近では、オーチャード通りの16カ所の喫煙場所が全て撤去され、残りは政府指定の5カ所だけになるそうです。違反すれば、最大1000ドルの罰金になります。値段も、1箱が日本の倍の1000円くらいですから、喫煙者がシンガポールで暮らすのは厳しいことでしょう。

### ③ 結婚

シンガポールでも晩婚化が進み、統計局によると平均初婚年齢が2016年には男性が30.3歳、女性が28.3歳になって、10年間で1歳くらい上がっています。ちなみに日本では、厚生労働省によると男性が31.1歳、女性が29.4歳だそうです。シンガポールでは、2016年の全婚姻数は27971件で、離婚数は7614件だったそうです。日本は、2015年の「人口動態統計調査」では、婚姻数57万5743件に対し、離婚数は20万6205件だったそうです。さて、日本人学校でも異民族間結婚がクラスに数人みられますが、シンガポールでは年々増加傾向にあって、21.5%に上ります。これは、共通語としての英語の使用、高学歴化、外国人居住者の増加、社会の多民族性など、シンガポール独特の事情によるものと分析されています。



## シンガポール便り 176

2017年9月12日 三好 隆志

### シンガポール航空

シンガポール航空は、創立70年の歴史があり、国際的な格付けによると世界最高レベルだと言われています。イギリスのスカイトラックス社が運営する2016年エアラインランキングでは、第1位がエミレーツ航空 UAE(ドバイ)で、以下第2位カタール航空 カタール、第3位シンガポール航空 シンガポール、第4位キャセイパシフィック 香港、第5位全日空 日本、そして日本航空は第21位でした。東京からは、シンガポールへ毎日5便が発着しています。私も、関西国際空港に発着する便に乗ったりバリ島旅行で利用したりしましたが、確かにシンガポール航空には細かいところまで行き届いたサービスを感じました。多民族国家の航空会社だから、世界各国の乗員を採用し、クルーのサロンケバヤと呼ばれる独特の制服はシンガポール独特のアジアンな旅気分に合わせてくれます。ただ、室内を寒いくらいに冷やすのがおもてなしの国なので、機内も非常にエアコンが効いていて毛布を2枚ももらうことになりました。多分、20℃くらいではなかったでしょう。

さて、そんなシンガポール航空ですが、2017年の四半期決算で、

5年ぶりの赤字になったそうです。エアアジアやタイガーエアなど東南アジア域内の格安航空会社の攻勢で、今後も厳しい経営が強いられる状況のようです。だから、その対策としてCEOがリストラを示唆する発言をしています。例えば、運賃の比較をしますと、シンガポールとクアラルンプール間の片道では、エアアジアの52ドルに対し、何とシンガポール航空は394ドルもするのです。アジア地域では、シンガポール航空と同様に、ハブ空港と高級サービスで成長してきた香港のキャセイパシフィック航空も、8年ぶりの赤字に陥り、人件費の30%削減と600人のリストラを発表しました。

また、シンガポール航空の飛行機は新しくきれいということですが、確かに106機の平均機齢は7年8カ月と欧米の10年を超える航空会社と比べて新しい機体の運行をしているようです。しかし、第1位のエミレーツ航空は保有する200機余りの平均が6年以下とシンガポール航空を上回っているそうです。日本航空の例があるように、いつまでもトップという意識を捨て、環境の変化への迅速な対応や企画力が必要だと思います。ぜひ、これからもシンガポール航空が世界のトップブランドとして継続できることを願っています。



# シンガポール便り 175

2017年9月10日 三好 隆志

## 農業

農林水産省の発表によると日本の食料自給率は、カロリーベースで魚介類の国内生産及び自給率の高い米の消費が減少する一方、小麦及びてん菜の国内生産が増加したことから、前年度と同率の39%となったそうです。今から50年前は、約73%もあったそうですから、ずっと低下傾向が続いているようです。先進国と比べると、アメリカ127%、フランス129%、ドイツ92%、イギリス72%、イタリア61%となっており、我が国の食料自給率は先進国の中で最低の水準となっているそうです。

さて、シンガポールではどうなっているのでしょうか。実は、食料供給の大半を輸入に頼り10%未満といわれています。今から50年前は、日本と同じように自給率は高く、国民の多くは農業に従事していました。国土の約5%にあたる1万4000ヘクタールを農地が占め、約2万軒の農家があったそうです。それが、シンガポールの急速な発展とともに、住宅や企業用地として多くの農家が農地を手放すことになっていきました。現在は、島内6カ所に農業団地があり、農地は675ヘクタールとなっています。認定農場数は260戸(2014年現在)で、土地は全て国有地だそうです。

そのシンガポールの農場はいったいどのようなところなのでしょう。アグロテクノロジーパークの一つサンゲイテンガーにあり、シンガポール最大規模の葉物野菜の生産農場であるコクファー・テクノロジー・ファーム(Kok Fah Technology Farm)を訪問しました。ここは、シンガポールの北西部にあり、我が家からは公共交通機関で1時間半かかる場所です。歴史的には30年間にわたり家族経営をしてきたそうですが、会社となったのは1999年だそうです。農場は5区画あり、あわせて7ヘクタールです。従業員は75人で農業は人手が必要な産業だと思われます。Asian Leafy Vegetableと呼ばれるアジアの葉物野菜を主に生産しています。ハウレン草、エンダイブ、中国レタス、パクチョイ、空心菜、カラシナなど12~15種類。中でも最も生産量が多いのはハウレン草だそうです。出荷までの数は野菜によって異なりますが平均30~40日くらいというスピードだそうです。ただ、熱帯という関係で、シンガポールで育てることができる野菜も限られます。例えば、



レストランで出てくるようなサラダに使う西洋レタスなどは涼しい気候での栽培に適しているため、シンガポールで作ることは難しいそうです。昨年は、ハイドロポニックス式（水耕栽培）のビニールハウスを新設し、カンコンやレタス、多種のホウレン草などが栽培されています。収穫された葉野菜は、フェアプライスなどのスーパーマーケットやレストランに納品されます。いわゆる地産地消が実現されているわけです。

この農園では、毎週土日週末マーケットを開催しています。農園で収穫された野菜や、ジュースも販売されていました。シンガポールの農業は、気候が安定しているため、1年中栽培ができることと、農場と消費者の間の距離が近いことが有利です。この農場では野菜の種まきから収穫、包装、出荷まで全工程を行っていますが、収穫してから2日で消費者に届けることができます。とれたての野菜を新鮮なうちに市場に出すことができるのは、国が小さく、農場と都市が近いことを活かした利点だと思います。食の安心安全が叫ばれている現在では、マレーシア産や中国産よりは値段が高くなっても、消費者に受け入れられる時代になっていると思いました。



自動包装機（左）や自動種まき機（右）の導入によって作業の効率化を図り、衛生面も配慮されている。

## シンガポール便り 174

2017年9月7日 三好 隆志

### 海の学校

日本では、5年生で海の学校と言われる宿泊学習があります。シンガポールでも、昨年度までの動物園キャンプから変更し、今年度は海の学校に行きました。動物園に宿泊し、普段見られない病院や希少生物の繁殖の様子を見学できた学習も良かったのですが、日本ではよくある海での体験学習も行いたいとのことで実施しました。目的は、

- 規律ある集団生活や体験学習を通して、協力し合い友情を深めていくことで、学び合いの心と態度を育てる。
- 自然の中での体験的学習を通して、自然に親しむ心や大切にすることを育てる。
- 英会話や外国語活動で培った英語を用い、学習活動やスタッフとのコミュニケーションを図る中で、さらに英語に関する興味関心を高め、慣れ親しむ。

の3つでした。場所は、学校から5kmくらいのチャンギ国際空港南側です。ローカル校もよく利用する施設ですが、実施した6月は、ちょうど夏休みの期間なので順番的には後回しになる外国の学校でも受付けてもらえました。

さて活動ですが、まずはカヤックです。水着を着て、その上に救命胴衣をつけます。海は、お世辞にもきれいとは言えません。また、波や流れがあって、結構サバイバルです。次に、ハイチャレンジです。これは、3階からレインジャーのようにロープで降りるものや、高い位置にあるアスレチックを渡るものです。下を見ると足が震えて、子どもたちにはスリル満点なチャレンジになったようです。最後は、チームアクティビティです。チームで協力して様々なゲームに取り組みました。

他にも、カレーをみんなで調理して食べたり、キャンプファイヤーをしたり、天体観測をしたりしました。全ての活動に、ローカルスタッフが関わってくれて、安全に野外教育活動を行うことが出来ました。



1 日目	2 日目
8:00 登校	6:30 起床、身支度、荷物整理
8:25 移動	
8:25 出発式 8:45 出発 9:00 到着 入所式 荷物移動、オリエンテーション	7:00 朝食
10:00 カヤック、ハイチャレンジ（ジップライン） チームアクティビティの3つに分かれ活動。	8:00 カヤック、ハイチャレンジ（ジップライン） チームアクティビティの3つに分かれ活動。
	10:30 清掃、身支度、出発準備
12:30 昼食 Buffet style	11:30 昼食
13:30 カヤック、ハイチャレンジ（ジップライン） チームアクティビティの3つに分かれ活動。	13:00 退所式
16:00 野外炊事（カレー作り）	13:30 現地出発
	14:00 学校着 解散式
18:00 シャワー	
19:00 キャンプファイヤー	
20:30 天体観測	
21:30 休憩、就寝準備	
22:00 消灯	



## シンガポール便り 173

2017年9月5日 三好 隆志

### 自転車シェアリングシステム

シンガポールでは、スポーツサイクリングは海岸通りなどでよく見かけますが、交通手段としての自転車使用はあまり広まっていませんでした。それは、暑い、盗難が多い、道が自動車用になっていて走りにくいなどの理由です。ところが、今年の5月頃から私の住むような郊外を中心にして、自転車シェアリングが急速に広がっています。自転車シェアリングは、環境の保護や都市での渋滞や騒音、大気汚染の緩和といった利点があります。歴史的には、2010年にロンドンで本格的に始まり、欧米に広がりました。中国や日本でも最近広まりを見せています。シンガポールでは、サービスを提供している3社全て中国系の企業です。

「Mobike」「oBike」「ofo」という会社で、区別は色でします。それぞれ赤、黄色とシルバー、黄色に分かれています。まず、登録にデポジットとして\$49を支払って利用します。ハンドルとシート部分についている自転車の番号を入力して、電話番号に送られてくるワンタイムパスワードを入力します。すると、鍵の番号が送られてくるのでナンバーロックを解錠して利用します。値段は、30分1ドルです。乗り捨てられる場所は、駅やショッピングモールの自転車置場や HDB 階下にある自転車置場です。返す時は、

アプリの Trip End を押

します。地図と自転車に搭載された GPS で使える自転車がどこにあるかが分かる仕組みになっています。今後急速に広がっていくと思われませんが、残念なことに常識を外れた使い方をする人も中にはいます。道端に置き去りにするとか、一人で10台以上乗っては自宅に帰るとか、ひどいのはサドル、タイヤを盗んでしまうとかです。利用者のマナーが問題ですが、罰則で縛るシンガポールの特徴そのままに、ポイントシステムを導入して良い利用者にはポイントアップ、駐輪場に戻さないなどマナー違反者にデメリットポイントをつけることを考えているようです。また、ポイントをキャッシュ化し、あるポイント以下になったら追加料金を支払わないとレンタルできないなどのシステムを早急にアプリに取り入れるようです。



## シンガポール便り 172

2017年9月3日 三好 隆志

### 学校では

まずは、運動会です。写真は6月に行われた中学部の運動会です。日本では考えられない気温34℃の中で行いました。例年、競技場を借りて行っていたが、本年度から経費や雨天延期の時の会場確保の問題で、チャンギ校の広いグラウンドで行いました。チャンギ校の運動会は、今月24日の土曜日に行われます。

次の写真は、運動会や音楽会や参観日などで、終わった時の様子です。何百人が一斉にタクシーのオンコールをして、大渋滞になります。なかなかタクシーがつかまらず、1時間くらい待つこともあります。それでも、市バスなどの公共交通機関を利用する保護者の人は、少数になっています。

下のバスの写真ですが、クレメンティ校の下校時のものです。敷地面積が、21,000平方メートルとチャンギ校の半分以下のため、通学バスの駐車スペースがありません。だから、チャンギ校のように一斉にバスに乗車することができず、スクールなどがあると全員下校までに1時間もかかることがあるそうです。通学バスの様子ですが、ローカル人の添乗員がいて、子どもたちの世話をしてくれています。朝暗いうちから起きて来ていますから、下校バスで寝ている子どももたくさんいます。添乗員さんは、複数の下車ポイントにきちんと寝ていた子どもも起こして、送り届けています。また、学校では万が一の下校バス交通事故に備えて、緊急避難訓練も行っています。ちなみに、料金は1カ月が約15,000円になります。子どもがたくさんいる家庭は、これだけでも負担になると思います。一番遠い子どもは、20kmを50分くらいかかって通学しています。見送りの時、笑顔で手を振ってくれる子どもたちに、明日も元気に来てねと、こちら手を振って応えます。



# シンガポール便り 171

2017年9月1日 三好 隆志

## 食べ物11

今回は、カヤトーストです。週末の朝食に出かけると、日本でのモーニングのように、カヤトーストセットを提供する店だけはいつも列ができていて10分くらい待ちます。カヤトーストとは、卵とココナッツミルク、パンダンリーフ、砂糖から作られるカヤジャムを、カリカリに焼いた薄切りのパンに塗り、薄くスライスしたバターをサンドしたものです。値段は、ホーカーセンターの店だと200円くらいとお得です。ちゃんとしたレストランだと、値段は倍くらいにはなります。注文は、カウンターでセットを選んで注文し会計を済ませます。すぐにコーヒーと温泉卵の乗ったトレイが出るから、空席に座り鉄板で焼かれたカヤトーストが出来上がるのを待ちます。コーヒーは、シンガポールのローカルコーヒー「コピ（Kopi）」で、コンデンスミルク入りの甘いものです。カヤトーストセットには、温泉卵が2個付いてきます。食べ方は、薄口醤油と胡椒をかけて黄身を崩し、カヤトーストにつけて食べたり、そのまま卵だけ食べたりします。実は、このカヤトーストセットはイギリスのソフトボイルエッグから来ているそうです。それは、トロトロの黄身をトーストに塗って食べるものだそうです。また、食パンは日本のものと違い、パサパサしているベンガルブレッドで、炭火の直火焼きを提供して人気の店もあります。ただ、栄養的には偏っていて、同じく朝食で人気の粥や麺類でも野菜は少なく、シンガポール人に足の不自由な人が多い一因でないかと思います。だから、私は写真のように他の店で肉や野菜を注文し、栄養バランスを心がけた食事をしています。しかし、野菜についてはマレーシアから輸入していますが、洗剤でしっかり洗わなければ農薬の問題があり、ホーカーセンターの料理は環境ホルモンの摂取において若干の心配があります。



6月25日はハリラヤプアサでした。ラマダン中のシンガポール、日が沈むと、テントに集まる大勢の人。今回は、ハリラヤのテントにいた人々に気になったことを突撃取材してみました。

## 1. テントで見つけたこれは何？何のため？

### 三日月と星

三日月は、やがて必ず満月になるところから、イスラムの「発展」、星は輝く「希望」「知識」を意味するそうです。

### 箱型の食べ物

クトゥパという縁起のいい料理です。ヤシの葉で編んだ箱の中に米を入れて蒸しています。ハリラヤの日は、親戚一同が集まるので大量に作ります。

### 封筒

お年玉のように、これにお金を入れて、子供やお年寄りに渡します。また年賀状のように、ハリラヤの前にはカードを送ることも教えてくれました。

### 香水やボマード（整髪料）

よく売られているのを見かけました。これらは、宗教的でも伝統的でもありません。ハリラヤに対する敬意を表すため、身を奇麗に飾って当日を迎えるために、人々は使用します。



## 2. 期間限定テントのスタッフさん、普段は何をしてる人？



### カーテン、財布、鞆などの、物売っている人

彼らは、アラブストリートなど、島内に店を構えていて、夜だけ出張でテントに来ていました。

### ジュースやケバブなどの、食べ物売っている人

島内でお祭りをしている場所に出して、転々としているそうです。また、自分の店の前に更にテントを出し、お店を拡大して売っている人もいました。

### ハリラヤ限定短期アルバイト販売員

本業はマレー語の先生という人とも出会いました。

## 3. ハリラヤプアサ当日は何をするの？

みんな答えは同じでした。両親や親戚の家に行き、贈り物をしたりして、いつもさえてくれている家族に感謝を伝えて過ごす日だそうです。ハリラヤは、マレーの人にとってお正月のようなもの。前日には全てのテントは店じまいをし、当日は、大切な家族との団欒の時間を過ごすのだそうです。

今回の取材で、突然のインタビューにも関わらず、みなさん快く答えてくださいました。聞いたこと以外の情報も気さくにお話してくれて、マレーの街、マレーの人々がまた好きになりました。

## シンガポール便り 169

2017年8月27日 三好 隆志

### マンション



このマンションに住んで3年間、築20年近くのマンションはいい面とお粗末な面があります。今年末のMRTダウンタウンの最寄り駅開通によって、この地域のマンションが人気になっています。中古価格が何と1億円近いというので驚きます。我が家は3LDKですが、間取りは2から4LDKまであるようです。

最初の写真は、玄関ドアのノブの故障です。これがすっぽ抜けて取れてしまい、家の中に入れなくなってしまいました。業者を呼んで修理しました。隣の住人は、電子ロックのノブに交換していました。



次の写真は、ハトの巣です。何と我が家のエアコン室外機があるベランダテラスに作っていました。シンガポールで一番多い鳥は、マイナ・バード (Myna Bird) と呼ばれるオオハッカです。そして次に多いのがハトなのです。普段は、朝の暗い6時には出勤し、夜の8時過ぎに帰宅するため、気付くまでに何か月か過ぎていました。

その間に卵を産み育てていたわけです。エアコンの掃除に来た業者が見付け、2回の子育てを見守りました。しかし、糞と匂いが大変で最後はきれいに取り除きました。9階で普段は人の気配がないため、巣作りに適していたのかも知れません。ちなみに、中野美奈子さんというタレントだった人が医師と結婚してシンガポールで暮らしていますが、同じようなハトの被害を受けて猫よけのトゲトゲをベランダに敷き詰めたとブログに書いてありました。また、鳩などに手持ちのお菓子などをあげてしまう日本人ですが、シンガポールでは厳禁です。S\$1000 (8万円くらい) の罰金だそうです。

最後は、キッチンの戸棚です。ちょうど流しのシンクに半分はみ出しているため、洗い物をしていて何度も頭をぶつけました。構造上の問題ですが、優秀な設計者が海外に流出してこういう初歩的なミスがよくあるそうです。シンガポールでは、英語と中国語ができてある程度国際的な視野がもてる人の海外進出がトレンドになっています。だから、オックスフォードやハーバードなど、欧米に海外留学した若者が、高い割合でシンガポールに帰ってこないという現実があります。そのため、実際に留学のための奨学金の条件として、その後シンガポール企業・政府に7年間勤務義務を負うという形で縛りつけているそうですが嫌う学生が多く、7年間勤めた後に離職する人が後をたたないそうです。



## シンガポール便り 168

2017年8月25日 三好 隆志

### 食べ物10

最初の写真は、鹿肉料理です。狩猟で獲ったものはシンガポールには輸入できないため、オーストラリアの広い農場で放し飼いになっている鹿肉を使っているそうです。基本的には、とても癖のない脂肪の少ない牛肉のようです。やわらかいし、臭みも思ったほどではありません。だまっていると、牛肉と間違えるかもしれません。

次の写真は、ラクサです。ラクサは汁が魚やエビからとられています。シンガポールやマレーシアでは、一般的な料理と言えます。特に、カトンラクサはシンガポール独特です。スパイシーな赤いスープに、ザルガイや大エビ、かまぼこなどのトッピングが乗っています。麺にも特徴があり、太めの麺を短く切ってスプーンですくって食べられるようになっています。辛いのが苦手な人や、独特の匂いは好き嫌いが分かれるようです。

次は、濃厚焼うどんホッケンミー（福建麺）です。ホッケンとは中国の福建省のことです。そのまま略して中国福建省風焼きうどんです。麺が白いビーフンと小麦の卵麺が混じっています。真っ黒で辛そうに見えますが食べてみると、意外にあっさりとした味です。真っ黒なソースは、中国醤油であえて黒い見た目にしています。具はイカやエビなどの海鮮。隠し味でイカスミを入れている店もあります。

次の写真は、シンガポール名物フライドホッケンミーです。具をスープと麺、卵を加えて炒め煮にしてあります。中国・福建からの華僑である中華系の人たちにはおなじみの庶民的な食べ物です。野菜と中華麺が二種類で塩味か魚介類のスープで炒めています。「ブラウン」というのは、「シュリンプ」より大きめのエビのここのようです。ホッケンミーには普通エビが入っているのですが、名前が「ブラウンホッケンミー」というくらいですから、それがより多く入っているわけです。ライムがついてそれをかけるとまた風味がちがっておいしいです。値段は、ホーカー（屋台というよりは屋外フードコート）では400円くらいです。また、レストランだとその倍くらいになります。



## シンガポール便り 167

2017年8月22日 三好 隆志

### 食べ物9

最初の写真は、中華鍋（火鍋）です。日本では、「中国のしゃぶしゃぶ」と呼ばれることもあります。しかし、この中華鍋が京都に伝来し、日本の「しゃぶしゃぶ」のルーツになったようです。シンガポールでは、中華料理店で食べる火鍋をスチームボート（steam boat、マレーシア語 Stimbot、スティムボツ）と呼んで日本人などの観光客にも人気があります。



次の写真は、お好み焼きです。お祭りの屋台で売っていました。1枚 200 円とお手頃価格です。シンガポールではジャパニーズピザと呼ばれているようです。また、たこ焼きも売っていました。こちらも 150 円と安いですが、味は日本の独特のソースでもないし、それなりという感じでした。このような屋台ではなく、日本から本格的に「なんじゃもんじゃ」Naniya Moniya Restaurant や「築地銀だこ」Gindaco などが出店していて、本場の味をそれなりの値段で提供しています。



次は、コーヒー豚です。豚肉のリップ肉を唐揚げにして甘いタレで絡めた料理です。酢豚に似ていますが、それがコーヒー味になる感じ。シンガポールではこのタレにコーヒーを混ぜたものが人気のようです。値段は 1200 円くらいでした。



最後は、カメエキスゼリーです。ちょっと驚く名前ですが、中国や香港の人たちに昔から広く愛されているそうです。これは、亀の甲羅の裏のコラーゲンと、土茯苓（どぶくりょう）、仙草、天草などの漢方薬などの漢方で固めて作ったゼリーです。中国の漢方で作られ、デザートというよりは体の調子を整える美容食として愛されているようです。ゼラチンを使って固めるものではなく、亀の甲羅の裏のコラーゲン成分が、製造過程で蒸されることによって自然に固まるものだそうです。味は、すごく苦いです。だから、砂糖やはちみつをかけて食べます。コラーゲンのかたまりみたいなものなので、美肌効果や夏バテ防止の効果があるそうです。あまり、美味しいとは思いませんが、その効果を期待して人気のようです。



## シンガポール便り 166

2017年8月20日 三好 隆志

### 食べ物8

最初の写真は、小籠包です。肉まんより小さい5cmくらいの点心の1つです。豚の挽肉を薄い小麦粉の皮で包んで蒸籠蒸ししています。薄皮の中に具と共に熱いスープが包まれていてれんげですくいやけどしないように食べます。上海が起源と言われていて、シンガポールでは高級店からホーカーの格安な店まであります。たれは酢に醤油を混ぜたものを用い、これに千切りにした生姜を混ぜます。写真は、ホーカーの小籠包でとても美味しいけれど300円と良心価格です。



次の写真は、ルンダンです。ルンダンはインドネシア最大の島、スマトラ島西部の町パダンの伝統料理で、牛や山羊、羊の肉をココナッツミルクと唐辛子、生姜、ターメリックなどのスパイスで長時間煮こんだ肉料理です。インドやパキスタンのカレーにも似ていますが、汁がほとんどなくなるまで煮詰めていて、保存食にもされているそうです。肉とスパイスの旨味が詰まったルンダンは、ほんの少しの量でご飯を何杯も食べられるため、今ではパダンだけでなく、インドネシア全土で人気の料理となっています。ソースが甘辛くて、肉は柔らかく本当に美味しいこの料理は、なんと、アメリカCNNが毎年発表する「世界的美食ランキング」で2016年に1位に輝いたそうです。シンガポールでは、ナシパダンと表示されたホーカーで食べられます。



次の写真は、カンクンゴレンです。中華野菜のカンクン（空芯菜）はインドネシアやマレーシアでは庶民の食卓に並ぶ代表的な野菜の一つです。香辛料「サンバル・ブラチャン」は激辛だし、独特のニオイがあります。しかし、慣れるとクセになるのがこの料理で、アツアツの白いご飯と共に食べたり、ビールにも合ったりする料理です。



次は、茹でピーナッツです。中国や台湾では殻ごと塩、八角などの香辛料を加えた湯で茹でる方法や、蒸籠で蒸す方法も一般的だそうです。茹で落花生は日本でも静岡県、鹿児島県などで食べられるようです。生の落花生を塩などで茹でただけの料理ですが、これがとても美味しくて中華料理の前菜として出たらついおかわりをもらってしまいます。これも、ビールにはとてもよく合います。



最後は、マレーシア料理のオタオタです。魚のすり身をバナナの葉っぱやパンダンリーフ（タコヤシの葉）で包み、その上で焼いたものです。包む葉の香りやココナッツミルクの風味などもあり、東南アジアの味わいがします。スパイスのきいたものや淡泊なものなど多様です。また、1つが小さいので値段も安くお手軽です。

# シンガポール便り 165

2017年8月15日 三好 隆志

## トピックス

シンガポールでは、仏教、キリスト教についてイスラム教が、人口の約15%を占めています。だから、隣国マレーシアのように、イスラム教を国教とする国々などとは大きく制度が異なります。それでも、祝日を始めとする様々な領域で配慮がなされています。モスクが、各地域にありますし、礼拝をする部屋も空港などの公共施設にはあります。また、イスラム暦9番目の月・ラマダンの約1ヵ月間、日の出前から日没まで飲食などを絶ちます。今年は、6月が断食月になりました。ラマダン終了翌日がハリラヤ・プアサと呼ばれる祝日に設定され、イスラム教徒は前日の日没から断食明けのお祝いを行います。マレー系の人々が多く住むゲイラン地区などではラマダン期間中にナイト・バザールやライトアップなどが行われます。私がよく行くホーカーセンターでは、やはり中華料理の店が多いのですが、イスラム系のマレーやインドネシア料理の店もわずかながらあります。断食月には、当然昼間は店を閉めているのかと思いきや、写真のように変わらず営業していました。また、お客さんも普通にいるみたいで、イスラム教が厳しいルールではないのか、それとも、イスラム教以外の私のような客が多いのかはよくわかりませんでした。ちなみに、このような店では、ハラルと言って豚肉やお酒はありません。中華料理では豚肉が多いですから、大きな違いになります。



1年中暑いシンガポールですが、太陽の軌道は確実に違います。日本の夏に当たるこの時期には、我が家から夕陽が見えます。北に向けた窓なので、そうなるようです。ただし、日の入りは午後7時頃で、1年中ほとんど変わらないです。この写真のような夕陽が見られるのは、夕立のスクールが多いシンガポールでは1週間に2度くらいです。



最後は、公共トイレです。中国では、トイレトーパーが盗まれるため、1人1mの配給制にしているというニュースを見たことがあります。シンガポールでは、盗まれるわけではないのですが、公共トイレでは外側にトイレトーパーが備えられています。必要な分だけを取って個室に入るといわけです。ですから、大型のものが2つもあるわけです。また、マレー系の人々は水で洗い流して紙は使っていません。

最後は、8月9日のナショナルデー（独立記念日）です。今年で52回目となりました。マリーナのステージでは、夕方から3時間あまり、壮大な軍事パレード、歌や踊りのパフォーマンス、派手な航空ショーを楽しみました。最後には、息を呑むような花火ショーが繰り広げられました。

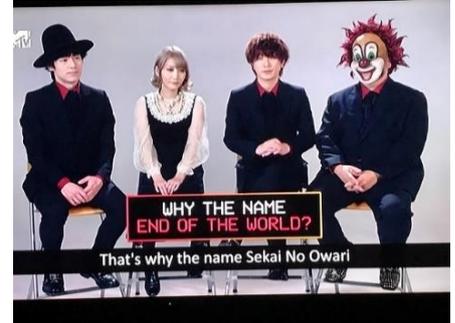


## シンガポール便り 164

2017年8月10日 三好 隆志

### トピックス

シンガポールでは、どんな日本のミュージシャンが聴かれているのでしょうか。一番よく目にしたのは、写真の「世界の終わり」です。英語の歌があるからかもしれません。同じ意味で、「ONE OK ROCK」なども英語が上手です。他には、「きゃりーぱみゅぱみゅ」「BABYMETAL」「宇多田ヒカル」とかです。みんな個性的で人気があったり海外公演をしたりしているからだと思います。



シンガポールは、中華系住民が多いため、麺類がたくさん食べられます。しかし、日本のラーメンは味や麺が違い、シンガポールでも高級麺類として有名です。それで、若者の街ブギスの駅から徒歩3分でいける「Bugis+」というショッピングモールの4Fに、日本の有名なラーメン店が集まるラーメンチャンピオンというコーナーがあります。お客さんは、日本人もいますが地元の人たちも多く、賑わっています。6店舗が入っていて、入り口で番号札が渡され、選んだ店に見せて注文します。最後にまとめて出口で会計します。店舗は、毎年人気投票で決まるらしく、数年間残っているのは、シンガポールでも味が認められた証拠だそうです。



シンガポールの駐在員賃金は、各種手当も込めて税引き後の手取りでアジア太平洋地域最高だそうです。これは、所得税が低いことにもよりますが、その額は中間管理職で年間316,600米ドルだったそうです。つまり、月給が税引き後300万円近くあったということです。シンガポールでの大学生の就職先は、欧米系多国籍企業・SG政府系大企業・日本企業の順となり、あまり評価されなくなっているようです。

国税庁：平成27年民間給与実態統計調査によると、日本での高給取りの目安である年収1千万円以上は、わずかに4.3%だそうです。MOM(シンガポール労働省)：Key Household Income Trends, 2016によると、年収が1000万円以上がシンガポールでは約10%もいます。2000年では年収500万円以上がやっと10%だったそうですから、この16年で2倍に増えていることとなります。なお、これは住宅手当など各種駐在手当が支給され、所得がかさ上げされる上記の駐在員は含まれていません。



# シンガポール便り 163

2017年8月5日 三好 隆志

## 陸上交通庁4

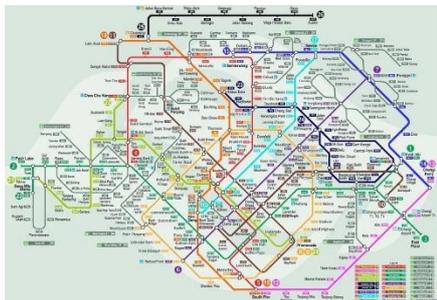
交通庁とは離れますが、公共交通機関を利用して気付いたことを紹介します。まず、最初の写真ですが、MRTのラッシュ時のホームです。日本と同じように朝の7時から出勤の、そして夕方の5時くらいからは帰宅のラッシュがあります。日本と違うのは、満員になったら、無理に入っていく人がいないことです。3分くらいで次の便がやってくるから慌てないのだと思います。



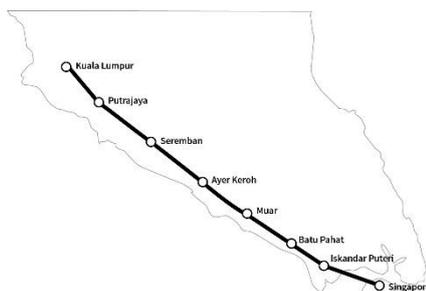
次の写真は、MRTの現在の路線図と、将来の路線図です。私のマンションからは、MRTの駅まで3kmほどあるため、歩いていくことはできません。バスで5駅10分あまりかかります。ところが、今年の12月に点線のダウンタウン線(Downtown Line)が開通し、私のマンションのすぐ横にベドックリザボ駅ができるのです。今まで1時間かかっていた都心のチャイナタウンなどへ、半分の時間で行くことができます。もう少し早く開通していたらと残念ではありますが、写真のようにどんどん進む駅の工事をうらやましく眺めています。



このように、シンガポール政府はどの地域からでもすぐにMRTの駅に行くことができ、国民の足として便利なシンガポールの地下鉄MRT路線整備をめざしています。2030年達成目標として掲げられているのが、全世帯の80%が自宅から徒歩10分以内で地下鉄MRT駅まで行けるという環境づくりです。それを実現するには、シンガポールの地下鉄MRT営業距離総延長が現在の約2倍である360kmとなる必要があります。この予想路線図を見たらさながら東京の地下鉄を見ているような感覚になりませんか。



最後は、シンガポールとクアラルンプールを結ぶ高速鉄道計画です。これには、日本や中国のほか韓国やフランス、ドイツなどの企業が入札に参加する意向を示しているようです。新幹線は中国に比べ、技術力と安全性で優位にありますが、中国はコスト面で優位に立っていて、今年末までに行われる入札が注目されています。



Kuala Lumpur-Singapore  
High Speed Rail  
2026  
—expected completion  
90mins  
—travel time between Kuala Lumpur and Singapore  
350km  
—8 stops between Singapore and Malaysia

Note: alignment of High Speed Rail stations is purely illustrative

## シンガポール便り 162

2017年8月2日 三好 隆志

### 陸上交通庁3



最後は、自動車についてです。まず、ナンバープレートの説明がありました。一番多い一般車両は、黒色のナンバープレートです。そして、黄色は公用車です。赤は、土曜日の午後3時から月曜日の朝7時までしか乗車が許されていません。だから、税金は半額だそうです。しかし、それ以外に乗りたい時には1日20ドルのクーポンを購入し、フロントウィンドウから見えるところにクーポンを置いておけば平日に運転できるそうです。オレンジのナンバープレートは、ガソリンなど危険物を扱う車についています。下から4番目の緑のナンバープレートは、PULAU UBINつまり、ウビン島だけで使えるものです。ウビン島は、5年生の校外学習で2年連続訪れました。島内を走る自動車は、東西8kmの島内を巡るタクシーなど、たった10台くらいだと思います。その下の、赤と黄色のナンバープレートは、ピンテージモデル専用だそうです。例えば、古いロールスロイスやジャガーEタイプなどで、1年間で走行できるの

は28日に限られるそうです。一番下の赤と緑のナンバープレートは、コントロールエリア専用になります。例えば、チャンギ空港内、PSA (Port of Singapore Authority)、セントーサ島などの域内だけで使えるというものです。

それから、日本でもお金を出せば好きなナンバーを選ぶことができますが、シンガポールではもっとその志向が高いそうです。特に、中華系住民は「1」と演技の良い発音の「8」が好きらしく、ベンツなどの高級車には特に末尾が8の車両が多く見られます。また、「4」に関しては日本と同様、「死」を連想させる数字なので、避ける傾向があるようです。ツアーの後半には、映画館のようなスペースがあり、交通に関する未来志向のストーリーを見ました。その中では、投票タイムがあり座席にあるボタンを押して参加しました。「お互いに譲り合おう」というメッセージが多く含まれていて、多文化共生を支えている考え方の基本を再認識させられました。展示の最後には、近未来のシンガポールのイメージ動画を見ました。カーシェアリングやレンタサイクル、バリアフリーのエコバス、より快適に目的地に向かうための人工知能を使ったシステム作りなどが紹介されていました。これからも、さらに快適な公共交通のために努力をしていくという姿勢を感じました。



# シンガポール便り 161

2017年7月30日 三好 隆志

## 陸上交通庁2



次に、もう一つの公共交通機関の柱であるバスは、MRT 網を補完するように島内全域に路線が張り巡らされています。一日の平均利用者数は、MRT を上回り 300 万人を超えるそうです。定期路線は、SBS (Singapore Bus Service) と SMRT (Singapore Mass Rapid Transit) の 2 社によって運営されていて、全体で約 4000 台、約 400 路線のバスが運行されています。運行時間はだいたい 6:00~24:00 となっています。料金は、MRT と同様最高でも約 2 ドルと低く抑えられています。



さて、政府は 1975 年に市内中心部へ流入する自動車の増加を抑えるため、入域許可制度を導入しました。当初は、渋滞のひどい市内中心部に流入制限ゾーンを設け、ピーク



時に流入制限ゾーンへ進入しようとする車は、許可証を購入してフロントガラスに貼り付ける、という手法でした。しかし、しだいに渋滞エリアが拡大していったことと、許可証の販売や違反者の取締り等に多額の人件費が必要であったことから、1998 年に三菱重工グループから世界初となる ERP (電子式道路課金システム) を導入しました。まず、自動車の通過を認識し、料金を通過自動車あてに発信するシステムを掲載したガントリー (跨線橋) と、自動車のナンバープレートを撮影するカメラを掲載したガントリーの一对のものが、高速道路を含めて国内 90 カ所以上に設置されています。これは、日本の ETC のようなバーがないため、車速を落とさなくてよく渋滞緩和に役立っています。このため全ての自動車には、ガントリーからの発信情報を受信する IU (In-vehicle Unit) の設置が義務づけられています。IU には一定金額が貯えられたキャッシュカードを挿入するようになっていて、ガントリー通過時に規定料金が引かれる仕組みになっています。なお、ガントリーのカメラは、キャッシュカードの残額が料金に満たない自動車、機器を装着せずに走行するなどの違反者のナンバーを撮影するためのものです。ガントリーの高さは 6m、一对は 15m 間隔で設置されています。この ERP システムの料金体系は、幹線道路と高速道路に分かれています。平日は幹線道路の場合、7:30~20:00 と、土曜日は 11:00~20:00、高速道路の場合、7:00~9:30 (または 11:00) と 17:30~22:30 が通過料の支払いが必要となる時間帯です。幹線道路、高速道路とも日曜、祝日



は無料です。おおむね 20 分毎に料金設定が変更され、通行量の多い時間帯ほど通過料が高くなる仕組みとなっています。この ERP システムは、運転手が通過料の支払いを避け別のルートを選択することや、通過料の不要な時間帯の通過を選択することにより渋滞を緩和することをめざしています。通過料の最高額は4ドルです。なお、ガントリーを通過するたびに料金を請求されることになるので、複数通過すれば、それだけ通過料が加算されます。これらの取り組みにより、シンガポール中心部の鉄道利用者は、平均して 400m 以内、徒歩 5分の範囲内で駅に到達することが可能となる。

# シンガポール便り 160

2017年7月25日 三好 隆志

## 陸上交通庁



リトルインディア駅から徒歩5分の場所に、シンガポールの公共交通を管理する政府の組織である陸上交通庁（Land Transport Authority「LTA」）があります。その一角にギャラリーがあり、研修でガイドツアーに参加しました。ただし、英語のガイドで他の国の人も参加しているため、英語に堪能な同僚にも詳しい同時通訳をしてもらおうタイミングがなく、英語力の重要性を痛感してしまいました。

まず、シンガポールの交通の歴史についての展示室に入りました。主に、イギリスが統治していた1900年代初頭の交通の様子でした。モスキートバス（蚊バス）と呼ばれていたバスがあったそうです。当時のバスは、渋滞している道路を蚊のように右に左に蛇行しながら、くまなく脇道まで入って運行していたそうです。当時は、当然エアコンなどの空調がまだなかったことから、窓を開けて運転していました。その結果、実際にたくさんの蚊も入っていたことから、このような名前がついたそうです。また、当時は満員の時には、バスの外側にもお客さんがしがみついていたそうです。

現在では、シンガポールの公共交通網は、国内のどこに行くにも低料金で、快適な国民の足として定着しています。公共交通の2本柱はMRTと路線バスです。MRTは、街の中心部では地下、郊外では高架を走る都市型高速鉄道で大量旅客輸送を担い、シンガポールの公共交通の基幹となっています。

1987年の開業以来、順調に利用者は増加して一日の平均乗客数は国民の半数約300万人近くになるそうです。運賃は大人初乗りで0.71S\$（約60円）から最高でも2.30S\$（約200円）までとなっています。改札は全て自動で、乗客は日本のSuicaやPASMOのような、2002年4月に導入されたEZリンク・カード（非接触型ICカード）を購入し、読み取り機にかざすだけで改札を通過することができます。ただし、時々読み取りや書き込みのエラーが起こり、駅の改札窓口で修正してもらうことが必要でした。



# シンガポール便り 159

2017年7月20日 三好 隆志

## 日本人学校のお弁当



日本人学校のお弁当はどのような様子でしょうか。世界に90ある日本人学校のランチタイムでは、全ての学校で給食はありません。家庭からの弁当持参が基本となっています。給食を行っていない理由には、設備、人材、食材の問題などがあります。

シンガポール日本人学校では、子どもたちの家を出る時間は午前7時くらいになるため、保護者は5時くらいに起きてお弁当を作らないといけません。また、お弁当がいたまないように家では入れ物の横に保冷剤を入れたり、学校では教室を離れる時にもエアコンをつけたままにしたりします。内容は、ほとんどの子どもたちが日本食のお弁当を持ってきています。

さて、何かの事情でお弁当を作ることができない時などに助かるのが、買い弁システムです。これは、業者がお弁当を販売するというものです。シンガポール日本人学校のチャング校、クレメンティ校、中学校の3校のPTAが、同じ2つの業者に委託しています。他の日本人学校では、クアラルンプールで全く同じようなシステムの様です。また、台北日本人学校では家の人注文をすると、近くのハンバーガーショップやお弁当屋さんが学校まで届けてくれるそうです。



業者が撤退して、新しい業者が2017年度から入っています。お弁当の値段は、8ドル(約700円)です。今日は生姜焼き、明日は鮭弁当など6つのメニューが繰り返されます。値段は、クアラルンプールの2倍になりますが、物価に比例しているため仕方ないでしょう。私は、単身赴任ということで毎日この弁当にお世話になっているため、できればクアラルンプール日本人学校のように40種類くらいあるとありがたいのですが、世界の日本人学校を見ると、あるだけ恵まれていると言えます。

人気があるメニューとしては、何といてもカレーです。昨年度は、カレーうどん・カレーライス・キーマカレーの3種類がありました。他にも冷やしラーメンや味噌カツ弁当などでした。





弁当を求める列が、長く並んでいる時には、人気メニューであったり、前日が日本人全体の大きな行事があって夜遅くなってしまうという事情が見られます。毎日この買う弁当システムにお世話になっている私としましては、もちろん感謝していますが、メインのおかず以外はほとんど毎日同じ副食や果物、あるいは少ない野菜類などがもう少し改善できればありがたいなあと考えています。一番下の写真は、少しゴージャスなお弁当になります。もちろん値段は3倍くらいになって、何かのイベントなどで注文する場合があります。

## シンガポール便り 158

2017年7月15日 三好 隆志

### これはビックリ



休日に家の近くの湖畔で、鳥のにぎやかな鳴き声が聞こえてきました。近づいて見ると、たくさんの鳥かごを棚にぶら下げて、おじさん達が椅子に座って眺めていました。これは、「Bird Singing Corner」と言われる場所で行われる「Bird Singing Club」という集まりでした。シンガポールでは比較的历史のある習慣で、かつてHDBにはこのように鳥を愛でるコーナーが数多く存在していたそうです。おじさん達は、布のカバーで鳥かごを覆って、近所からやってくるようです。そして、到着すると持参した鳥かごを置き、一つ一つ丁寧に鳥かごの布カバーを外してカゴをぶら下げていきます。場所や向きなど、いろいろこだわりがあるようです。場所が決まると、近くのホーカーセンターからコーヒーを頼み、カゴの近くの椅子に座っておしゃべりを楽しんでいました。

かごの形は丸いものが多くて、それぞれのかごに同じ種類の鳥がいます。美しい声とコーヒーの甘い香りが休日のゆったりとした空気と入り混じり、とてもリラックスした気分になれます。

この集まりは紳士倶楽部のような、社交場的な意味合いもあるそうです。女性は見当たらず、年配の男性がほとんどでした。シンガポール人に聞くと「週末のおじさん達の楽しみの一つで、他のお金がかかる趣味よりは奥さんに許されるんじゃないか」という意見でした。ただ、いかに自分の鳥の声を美しくさせるかということに競っているようでもありました。歌声コンテストも開催されることがあるようです。

近くには、鳥専門のペット屋がありました。鳥の種類は、チョウショウバトです。鳴き声は、クークーという感じです。他には、コウラウンというヒヨドリの仲間もいました。鳴き声がきわめて高らかです。そして、3種類目はメジロです。この鳥が、一番かわいく感じました。値段は、どれも1万円前後でした。また、鳥かごは安いもので5000円くらいからだそうです。この、「Bird Singing Corner」ですが、Ang Mo Kio 周辺では、シンガポール各地から集まってくる大規模な場所もいくつかあるそうです。何百も鳥かごがあると、騒音にならないかと逆に心配してしまいます。



## シンガポール便り 157

2017年7月10日 三好 隆志

### これはビックリ



シンガポールの中心部オーチャードやマリーナ地区には、たくさんの方が集まります。そのため駅やビルなどの広告は、企業にとって有効な手段となっています。写真は、ショッピングの中心地、オーチャード駅直結のショッピングモール内にあるアメリカのスーツケースで有名なサムソナイトの壁面広告です。内容はシンプルながらその大きさに思わず目が留まります。こちらの広告は約1か月ごとに差し替わるそうです。



次の写真も、壁面を大きく使ったドイツのスポーツ用品の製造・販売を行うPUMAのメガ広告です。私は、地方都市岡山の出身だから分かりませんが、日本でも東京など大都市には、このような広告があるのだと思い調べてみました。すると、世界一の巨大看板としてギネス認定されている看板がありました。それは、明治の大阪工場に設置されている縦27.588m×横165.946mの看板でした。

次の写真は、お葬式です。何と、お通夜やお葬式でも悲しい顔がなく、明るいお葬式でわいわい騒いでにぎやかなようです。シンガポールの中華系家庭では、約1週間これを続け、この間多くの人たちが葬儀場に集まり飲み食いし、麻雀などを楽しみながら過ごすそうです。葬列は故人の名前の書かれた花輪を先頭に、楽団、お坊さん、霊柩車、ハリボテで作られたベンツの高級車、家の模型、会葬者と続きます。楽団の演奏は、近づく悪霊を賑やかな音楽で追い払うためだそうです。また、服装は日本のような黒色の喪服ではなく、故人に近い親戚達は白いTシャツ着るのが習わしようです。この写真の時も、日中の30℃を超える中での葬列でしたから、暑い時に黒色はよけい暑くなるからかもしれません。

最後は、スーパーマーケットの入店禁止事項です。写真撮影・介助犬以外の犬同伴・たばこや飲食などは日本と同じみですが、ヘルメットでの入店お断りとありました。この絵を見ると、フルフェイスで顔が確認できないからだと思います。もしかしたら、日本でもコンビニ強盗が時々報じられているので禁止されているのかもしれませんが、このように他の事項と並んで示されると驚いてしまいました。



## シンガポール便り 156

2017年7月5日 三好 隆志

### ボタニックガーデン10



ボタニックガーデンには、色々な野生の生き物が住んでいます。今回は、初めてサルに出くわしました。シンガポールは、島国でマングローブが多いため、カニクイザルという尻尾の長いサルのようなサルです。おとなしいサルですが、食べ物を見ると襲ってくるかもしれません。そのため、食べ物を与えることは、禁止されているようです。猿の増加に伴って、猿が人を攻撃したり、住居に侵入したりする事件も増えているようです。2013年に1800件にも達し、そのため数百頭のサルが駆除されたそうです。当然、動物愛護者に強く反対されて、問題になっているようです。



次は、淡水カメです。どこでも見られると思っていたアジアの淡水ガメ・リクガメは、主に東アジア地域で、食肉としての需要を満たすためや伝統薬に使うために大量に捕獲されているそうです。また、ペットとしても需要があります。そのため、多くの種で絶滅が危惧されているそうです。

次は、オオトカゲです。シンガポールのあちこちで普通に見られるミズオオトカゲで、北部のマングローブが多い湿地帯に多く生息しているそうです。大きくなると2mにもなり、近くで見ると恐ろしいですが、意外に臆病ですぐ逃げるようです。カエルやヘビ、カメや魚などを食べるそうです。



エコレイクという美しい湖には、カメと共に黒鳥やカモなどの水鳥が生息しています。時々、陸地上がって見学者を喜ばせてくれます。湖を眺めながら、ピクニックしている人も多く見られました。黒鳥は、オーストラリアの固有種で、白鳥のような渡りは行わないそうです。また、子どもの羽毛は白色で、成長するにつれて羽毛が黒くなるそうです。また、ヒナを見てみたいものです。



最後は、犬の看板です。シェパードやドーベルマンのような犬種は、注意なさいということだと思います。確かに、人々が散歩させているのは、タイプードルやチワワ、ミニチュアダックスフンドのような小型犬がほとんどでした。しかし、全くいないわけではなくて、ゴールデンレトリバーのような大型犬を連れてきている人もいました。

# シンガポール便り 155

2017年6月30日 三好 隆志

## シンガポール日本人学校の現在

### 1 学級通信

日本人学校では、各クラスが毎週学級通信を出しています。これを、ていねいに作ることによって、保護者と教師との信頼関係が生まれます。若い先生が多いので、次のような共通認識を確認しています。

- ① A4サイズ1枚の裏表印刷とし、裏面に次の週の時間割を半分くらいの紙面サイズで載せる。
- ② 内容は、学級や学年の行事、子どもの感想や作文、活動写真、係活動の様子、委員会活動の様子、転出入の紹介、認めたい行動等。
- ③ 紙面のつくりをマンネリ化しないように工夫する。
- ④ 写真ばかりを入れない。
- ⑤ 自分の教育観を盛り込む。
- ⑥ 多くの人の目にふれるものであるため、正しい日本語で書くなどの意識をもつ。
- ⑦ 引用には注意し、著作権や情報の正確さを確認する。
- ⑧ 学年での読み合わせで、互いに点検する。



### 2 教師の仕事

- ① 学習指導（授業が全て 授業で子どもたちとつながる、子どもたちをつなぐ 少なく教  
て多くを学ばせる）
- ② 生徒指導（子どもたちが背負っているものへの共感と理解 自己決定の場 共感的人間  
関係 自己肯定感）
- ③ 校務（情報の共有・分析・評価 確実な事務 期限を守る 整理整頓 同僚性 協同作  
業）
- ④ 保護者対応（子どもを通じた教師への信頼 家庭とのパートナーシップの構築 要望へ  
の対応 大切な初期対応）

### 3 教育目標

「持続可能な社会の担い手として、夢を抱き自らの可能性を伸ばし、豊かな国際感覚をもち世界の人々とながらうとする子どもの育成」

- ・「つながる」とは、互いに助け合い・教え合い・支え合い、そして共に生きること。
- ・人権の尊重や民主主義など、教育の果たす役割は重要である。



# シンガポール便り 154

2017年6月28日 三好 隆志

## シンガポールの現在5

### 1 万引き

シンガポールでの1年間の万引き通報件数は、警察の統計で約4,000件となっています。内容は、高く転売できる粉ミルクや酒類、アワビの缶詰などだそうです。2万円の高級ピネガーが盗まれたこともあったそうです。手口は、カバンに隠したり、セルフレジで商品をスキャンしているふりをして代金を支払わずに持ち去ったりするということです。スーパーマーケットでは、防犯係員を配置したり、防犯カメラやモニターを設置したりして減少傾向にあるそうです。



### 2 食べ残し対策

私は、よくホーカーセンターで食事をしますが、食べ残しの多さに驚きます。中華系の人達はご飯を一粒残らず食べるに金持ちになれないと信じているそうです。そして、食事をもてなす側も、全部綺麗に食べられたら、もてなし方が少なかったのではないかと不安になるそうです。食べ残す位十分に食事を出さないと格好が付かないということらしいです。もう、10回以上訪れたバリ島でも、シンガポールと同じように、ご飯一粒残さず食べてしまうと「意地汚い」とか「卑しい」と思われてしまうことがあるようです。ご飯は少し残しておくのがマナーで、少し残して飼っている犬にあげるのが通常です。私は、米粒ひとつでも残すと目がつぶれるとい



われてきましたので、もったいないなあと思ってしまいます。このような実態から、シンガポールの環境庁では、学校内食べ残し削減プロジェクトを2017年に小中学校10校を選んで導入しました。生ゴミ処理機を設置して、児童・生徒・教職員が専用容器に入れた食べ残しの生ゴミを、堆肥に変えようというものです。すでに設置している学校では、毎日15kg前後の食べ残しが出ていて、この処理機で10時間かけて約2kgの堆肥を作っているそうです。こうして作られた堆肥は、共同菜園で野菜や果物を栽培している一般市民に提供されているそうです。教育現場は、食べ残しをリサイクル過程を実際に目にするすることで、食べ残しの削減やリサイクルの大切さに気付かせたいと考えているそうです。

## シンガポール便り 153

2017年6月25日 三好 隆志

### シンガポールの教授法（シンガポール式算数）

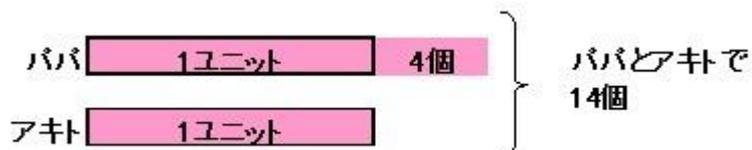
シンガポールでは、3年生から成績別のクラス分けがあります。5、6年生はすべての小学校で成績別に細かくクラス分けが行われます。そして、小学校卒業試験 PSLE (Primary School Leaving Examination) が実施されます。PSLE は卒業を判定するのみでなく、得点取得順に中学校選択が可能となるので、進路に重要な意味をもち、この結果で人生が決まるとまで言われています。シンガ



ポールの子どもたちは、世界トップレベルの学力があることをよく報道されています。それを支えているのがシンガポール式の算数です。シンガポールの小学校では 1992 年からこの独自のカリキュラムが導入されたそうです。このシンガポール式算数の特徴は 2 つあります。単純な計算問題よりも文章問題に重点をおいていること、文章問題を解く際にバーモデルという手法を使うことです。また、立方体やビーズなどを使って九九や足し算引き算などを教えていきます。イギリスやアメリカ、南アフリカやオランダなど 25 カ国で採用されています。イギリスでは、従来の教授法より習熟度が高いことが実証されて、今後数年で 8,000 校の小学校に導入される計画だそうです。さて、実際にどのような解き方でしょうか。例題でみてみましょう。「バーモデル」とは、文章題の中で基準となる数を最初に見極め、それを 1 ユニットとして、他の数との関連を図に表したものです。未知の数値を未知のまま視覚化して、取りあつかいやすくするわけです。

問題 パパとアキトは、2人でチョコレートを 14 個持っています。パパの方がアキトよりチョコレートを 4 個多く持っています。アキトが持っているチョコレートは何個でしょうか？

解答 アキトが持っているチョコレートの数を 1 ユニットとすると、パパが持っているチョコレートは 1 ユニット+4 個となる。パパとアキトで 14 個のチョコレートを持っているので、ここから 4 個を引くと、2 ユニット分の数字が 10 個とわかる。2 ユニットで 10 個なので、1 ユニットは 5 個となり、アキトが持っているチョコレートは、5 個となる。



このように、アキトが持っているチョコレートの数を 1 ユニットと基準と定め、この 1 ユニットという単位をベースに全体像を視覚的にモデル化していくことが、バーモデルの特徴となります。

## シンガポール便り 152

2017年6月22日 三好 隆志

### シンガポールの現在4

#### 1 自動運行バス

日本でも開発が進んでいる自動運行バスですが、シンガポールでは2018年からセントーサ島で運行が開始されます。科学技術研究庁やシンガポール国立大学などが関わっているそうです。

#### 2 ヘイズ（煙害）

2015年には、過去最悪となったヘイズ、9月～10月はほとんど指数が100を超える日が続きました。しかし、最近は発生源のインドネシアスマトラ島で、改善策が実って発生が抑えられています。それは、焼き畑に代わる方法を農家に奨励する啓発活動や、泥炭地開発の封鎖などです。泥炭地は、地下に火災源があるため消火が難しいのです。インドネシアのスマトラ島には広大な泥炭地が存在します。熱帯雨林開発のために道路や農地が開発されると、排水によって道路周辺の土壤に含まれる水分が減少し、火災のリスクが高まることが報告されているそうです。このインドネシアにシンガポールは毎年支援を行っています。シンガポール民間防衛隊の消防員を輸送するためのC-130型輸送機2機、人工降雨作業のためのC-130型1機、インドネシアの森林火災現場を写した高解像度の衛星写真の提供、消火のための状況評価や計画作りなどだそうです。シンガポール環境評議会（SEC）は、不買運動の一環として、小売業界に紙製品のプランテーション企業であるアジア・パルプ・アンド・ペーパー（APP）など計5社からの製品を扱わないよう要請しました。これらのメーカーから仕入れた製品や原材料を使わない宣誓書を提出しなければ、環境認証マークを外すと宣告しているそうです。これにより、国内スーパーマーケット最大手のNTUCフェアプライス、シェン・ション、プライム・スーパーマーケットはAPP社製品をお店から撤去してしまいました。また小売店のガーディアン、セブン・イレブン、ジャイアントなどを展開するデアリー・ファームはAPP製品の新しい買い付けを停止したそうです。扱い停止による損害は数億円と見込まれています。こうした紙・パルプ企業からの調達を自粛する企業を“haze-free”と称して、シンガポール政府はWeb上でリストを公表しています。またシンガポール銀行協会も「責任ある融資」の指針をまとめ、発表する予定です。DBS、OCBC、UOB銀行などの主要大手銀行が検討中だそうです。このように、ヘイズ原因企業を融資面で冷遇するなど、圧力をかける内容になっています。そして、インドネシア政府もプランテーション企業300社以上を調査し、83人を逮捕したと公表しています。



# シンガポール便り 151

2017年6月20日 三好 隆志

## シンガポールの現在3

### 1 再雇用

日本では、65歳までの再雇用となっていますが、シンガポールでは2017年から67歳まで義務付けられました。再雇用が出来ない場合は、一時金として雇用支援金の支払いが設定されます。月給総額の3.5倍で5,500シンガポールドル（約44万円）以上とされているそうです。高齢化の波が、シンガポールでも急速に広がっています。

### 2 学童保育

日本では、放課後や長期休業中に小学生を学校で預かる学童保育が、ほぼ1校に1つあります。半数は公的機関が運営しているそうです。シンガポールにも、2016年現在190校ある公立小学校の内135校に設立されていて約15,000人が利用しているそうです。2012年には、約3,000人だったそうですから急激に整備されていることが分かります。そして、2020年には全ての小学校に設立されることになるそうです。日本との違いは、運営が全て民間の業者だということです。ただ、教育省では低所得者に対して、約2万円余りの費用を補助しているということでした。共稼ぎ夫婦がほとんどのシンガポールでは、日本に習った学童保育の環境整備はとても重要だと思います。



### 3 国際バカロレア（IB）

国際バカロレアとは、1968年にスイスで設立された国際統一カリキュラムです。現在、約150の国で5000校近くが認定を受けているそうです。日本でも、50校近くが、またシンガポールでも30校あまりが認定されています。特徴は、教授型の学習ではなく、探求型の学びだということです。多言語を操る力や国際感覚、地域への奉仕活動などの特徴的な教育で、広く複雑な社会と自らの学びとの関連性を意識させるプログラムです。そして、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することが最大の目的と言えます。この試験によるスコアは、世界の大学で導入が進んできていて、日本でも認知度が急速に広まっています。つまり、このプログラムの学校は、国際的なレベルで認められているというわけです。文部科学省では、グローバル人材育成の観点から、日本の国際バカロレアの普及・拡大を推進しています。そこで、「日本再興戦略-JAPAN is BACK-」（平成25年6月閣議決定）に基づき、国内における国際バカロレア認定校等（ディプロマプログラム）を2018年までに200校に大幅に増加させることを目標としているということでした。



# シンガポール便り 150

2017年6月17日 三好 隆志

## シンガポールの現在2

### 1 都市ランキング

アメリカの人材コンサルタント会社マーサーが発表した生活環境調査都市ランキングで、シンガポールは世界25位だったそうです。これは、政治・経済・社会・自然・医療・娯楽・住宅・安全性・公共サービス・生活物資調達などについて調べたものです。第1位はウーンで、東京は47位でした。また、インフラ都市ランキングでは、シンガポールが世界第1位となっていました。



### 2 ごみのポイ捨て

シンガポールでは、チューインガムやごみのポイ捨てが禁止されていることは有名です。環境庁によると、2016年にごみのポイ捨てで罰金を科せられた件数は、何と31,000件もあったそうです。公共の場で3時間以上の清掃業務も命じられる人も増えているそうです。



### 3 エイジェント（不動産仲介業者）数

不動産仲介人協会によると、不動産店は、1,286社でエイジェント数は何と28,397人もいるそうです。しかし、これでも数%の減少だそうです。住宅市況の低迷は今後も続く予想となっています。また、取引ツールや取引情報がオンラインで提供されるようになってきて、エイジェントを介さない取引も増加しており、それも減少の原因と考えられるそうです。

### 4 選挙年齢

2016年から、日本の選挙年齢は18歳に引き下げられました。若い人の政治に対する関心を深めてもらうためと投票率が向上することを期待しての動きだったわけです。さて、シンガポールではどうなっているのでしょうか。実は、21歳以上と国際的に見ても高い年齢になっています。これは、18歳から2年間兵役があるためだと思われます。ところで、シンガポールの投票率は、日本を大幅に上回って2015年の総選挙では93.6%もありました。実は、棄権した場合、選挙権の剥奪や罰金が課せられるからです。そして、仕事で行けないということのないように、投票日は休日と定めているのです。

### 5 高速鉄道

シンガポールとクアラルンプールを結ぶ高速鉄道が、今年着工し2026年に開通する予定だそうです。現在、飛行機では待ち時間を含めると3~4時間かかりますが、90分で結ばれるそうです。ジャカルタで中国に敗れた日本の新幹線が受注できるか注目されているようです。



# シンガポール便り 149

2017年6月15日 三好 隆志

## シンガポールの現在

### 1 失業率

2016年の失業率は3%で、最近増加傾向だそうです。つまり、景気が減速しているわけです。

### 2 空港旅客数

2016年のチャンギ国際空港を利用した旅客は、過去最高の5,870万人だったそうです。これは、世界で15位にあたり、東南アジア有数のハブ空港となっています。ちなみに、東京国際空港は、約7,500万人で世界第5位でした。

### 3 観光

2016年の観光客は1,640万人で1位はインドネシアからの289万人だったそうです。2位以下は、中国・マレーシア・オーストラリア・インド・日本となっていました。観光収入は248億シンガポールドル（約2兆円）でした。

### 4 大学卒初任給

2016年にシンガポール国立大学卒業生の初任給は、中央値で4,000シンガポールドル（約32万円）だったそうです。南洋理工大学卒業生の初任給は、中央値で3,500シンガポールドル（約28万円）だったそうです。

### 5 食の廃棄量

2016年の食の廃棄量は、788,600トンだったそうです。シンガポールは、外食が文化となっていて、この廃棄量も10年で50%も増加し、大変な社会問題となっています。飲食業協会（FBMA）のチョン会長は「シンガポールのような。裕福な社会では、あまりおいしくないから食事を食べきらないとか、ビュッフェではつい皿を食べ物で一杯にしてしまうという習慣が身についてしまう。」と語ったそうです。

### 6 水道料金

財務大臣は、予算演説で2018年7月までに水道料金を30%引き上げることを発表しました。1世帯では、平均1か月あたり18シンガポールドル（約1500円）の値上げになるそうです。公益事業庁によると水道水の消費量は、1人1日あたり平均151リットルだそうです。これを、2030年までに140リットルに引き下げること目標にしているそうです。

